

おめでとーございます

春の叙勲

旭日双光章を受章

三好雅美さん（舟場）、若林朗さん（金持）

様々な分野で活躍し、社会貢献した人たちを表彰する「春の叙勲」が、4月29日、内閣府から発表され、日野町から三好雅美さん（舟場）と若林朗さん（金持）の2人が旭日双光章を受章されました。
三好さんは地方教育行政功労、若林さんは農業振興功労として、長年の功績が高く評価されました。

皆さんを代表して受章



三好雅美さん
（舟場・90歳）

振り返って見ると、中学校の統合問題が特に印象に残っています。これまで多くの方々の支えにより、やってこれたこと感謝しています。皆さんを代表して受賞したと思っています。

三好雅美さん（舟場・90歳） 元年まで26年間委員を努め、昭和38年に町教育委員会 その内13年間は委員長として委員に任命されて以来、平成 教育行政に当たりました。

農業の発展に努めたい



若林 朗さん
（金持・72歳）

身に余る光栄です。これから地域の農業発展のため自覚と責任を持って取り組んでいきたいです。特にまちの特産品開発や農業後継者育成に力を入れていきたいと思っています。

農業経営者の視点により、農業経営の近代化や合理化、後継者の育成に取り組みしました。また、転作目標面積の達成に努力すると共に、大豆、白ねぎ、リンドウなどの転作物及び和牛の飼育に多大の貢献をしました。

特に小中学校の統合など教育施設の整備に貢献。また、町制20周年を記念して制定した町民憲章の制定委員長を努め、本町のまちづくりの指針となる憲章を作り上げました。
若林朗さん（金持・72歳）
は、昭和46年から現在まで32年間、町農業委員会委員に就任。その内16年間は委員長として農業委員会の円滑な運営に尽力しました。
農業経営者の視点により、農業経営の近代化や合理化、後継者の育成に取り組みしました。また、転作目標面積の達成に努力すると共に、大豆、白ねぎ、リンドウなどの転作物及び和牛の飼育に多大の貢献をしました。

一進一退の延長7回 2-1

根雨スポーツ少年団が優勝

第27回日野郡少年野球日野町大会



3年ぶりの優勝に喜びの根雨スポーツ少年団のナインたち

5月5日、第27回日野郡少年野球大会の決勝戦が、日野中学校グラウンドで行われ、根雨スポーツ少年団が3年ぶりに同大会で優勝しました。
大会には、日野郡内の少年野球6チームが参加。5月2日は2回戦まで、5月5日には、決勝戦と3位決定戦が行われました。
地元の根雨スポーツ少年団は、1、2回戦とも大量得点を重ね、コールド勝ちで決勝戦に進出しました。決勝では、石見スポーツ少年団（日南町）と対戦。試合は、両チームとも無得点のまま試合は進み、延長7回に2得点を挙げ優勝しました。
同大会は、全日本学童軟式野球大会の県大会予選も兼ねており、根雨スポーツ少年団は、6月19日から始まる県大会（用瀬町）の出場権を手に入れました。

大会記録	1回戦	14 - 2	溝口ベアーズ（4回コールド）
	2回戦	10 - 0	チロルジュニア江府（3回コールド）
	決勝戦	2 - 1	石見スポーツ少年団（延長7回）